

別記様式

		担当課	生涯学習課		
会議の名称	第3回鴻巣市文化芸術振興審議会				
開催日	令和6年6月28日(金)				
開催時間	午後2時00分 開会 ・ 午後3時55分 閉会				
開催場所	鴻巣市役所本庁舎3階303会議室				
議長(委員長・会長)氏名	会長 満井 康江				
出席者(委員)氏名(出席者数)	満井 康江 間中 由利子 堀越 延年 柳 沙智子 高橋 由紀 坂本 秀徳 齊藤 千賀子 瀬藤 貴史 小林 俊尋 (9名)				
欠席者(委員)氏名(欠席者数)	坂本 愛子 齊藤 佳子 加地 卓 (3名)				
事務局職員職氏名	生涯学習課長 清水 健紀 生涯学習課副課長 清水 裕子 生涯学習課主査 小山 文代 生涯学習課主事 菊池 耕晏				
傍聴の可否(傍聴者数)	可 (0名)				
会議の内容	(議題) (1) 文化芸術に関するアンケート調査結果について (2) 鴻巣市文化芸術振興基本計画(基本施策素案)について				
	(決定事項など) (議題1) 文化芸術に関するアンケート調査結果について、事務局から説明を行い、次のような意見・質問があった。 ・回答数の割合について ー有効回答数723件のうち、貸館施設にて配布し、回収した数は691件、鴻巣市電子・届出申請サービスにて32件の回答があった。 ・「時間に余裕がない」と答えた人の年齢層はどの年代が多かったのか ー70～79歳が最も多い。 ・どのような年代のニーズが高いのか、年代ごとの課題を把握しながら進められれば良いと思う。 (議題2) 鴻巣市文化芸術振興計画(基本施策素案)について、事務局から説明を行い、次のような意見・質問があった。 ・〇〇らしさという柱を立てていくと、それぞれの特徴を表せると思う。 ー今後の検討課題としていく。 ・デジタルアートとして発信することも発信に含まれるのか。 ー未来に起こりうる表現の問題で、将来的な課題として検討していく。 ・情報発信のネットワークが大事だと思うので、全体的なネットワークとしてどうなっていくか、どう繋がっていくかが大事。 ー若い人たちにも興味を持って見てもらえるように情報の発信、見せ方について検討していく。 ・海外に行くと自己紹介や話の中で「どういった文化の所から来たのか」を問われる。自分たちのアイデンティティとして、どのような文化があるのかを発信していくとよい。 ・地域にある伝統工芸について紹介、自分で作ってみたい人にアプローチをしていく窓口となること、人と人をつなげる窓口の一つとなることは可能ではないかと考える。 ・全国的に伝統文化の担い手、職人の不足が問題となっている。どれを残し、どれを映像として記録していくのか考えていく時期になっている。 ・デジタルの中には未来はなく過去の情報のみであり、新しいものに挑戦しなくなってしまう。情報発信としては大事だが、創造性とは切り離して考えていくべき。 ・子どもたちが文化芸術に触れる機会が多いことが大事である。学校の中でも文化芸術の機会の創出をお願いしたい。				

配布資料	<ul style="list-style-type: none">・次第・資料1 文化芸術に関するアンケート調査結果・資料2 鴻巣市文化芸術振興基本計画（基本施策素案）・資料3 鴻巣市文化芸術振興審議会委員名簿 鴻巣市文化芸術振興基本計画 基本施策に関する意見書
------	---

注 会議の内容の欄は、主な意見や質疑内容を交えて概要を記入し、記入事項が多い場合は、別紙に記入するものとする。